

No. 24	平成30年度「地域子育て活動支援事業」実施の内容
団 体 名	子どもを見守るまちづくり委員会
事 業 名	子どもを見守るまちづくり委員会 子育て支援構築事業
実 施 期 間	平成30年7月～平成31年3月
事 業 実 績	1) 子供会リーダー研修会 年間4回実施 7/2. 7/19. 11/16. 12/9 2) 中学生リーダー研修会 年間6回実施 7/19. 8/7. 8/9. 9/2. 9/30. 10/1 3) Fプロジェクト事業 年3事業実施 8月7日：サマーフェスティバル～Go～ 9月29日：紫波町ダーツOR 登山の旅 1月12日：夢灯りを作ろうワークショップ 4) 環境まち・ひとあるき事業 年間4回実施 1/9. 2/23. 3/10. 3/17 5) Facebookによる発信事業 随時
実 施 効 果 自 己 評 価	(1) 子ども会リーダー研修会 目的達成型子ども会行事の構築を根底においた企画や、子ども自身の役割を明確にすることにより、子ども会行事に子ども自身の関わる機会が増加した。 地域の多様な世代へ「子供会行事」の取り組みを発信する機会となった。 (2) 中学生リーダー研修会 地域関係団体からの要望に基づき、既存事業の検討会や新規事業の立ち上げなど、中学生が中心となって計画し、古館地区の多様な事業が充実するとともに、Fプロジェクト事業の充実に向けた貴重な研修の場となった。 (3) Fプロジェクト事業 実践する内容を小学生や中学生スタッフが中心となって「企画」「検討」「運営」する過程を通して、若い世代が地域の大人と交流する機会が増えるとともに、大人と子供と一緒に地域について考える機会が増え、子どもを中心とした新たな地域活性化事業として古館地区に根付くことができた。 (4) 環境まち・ひとあるき 小学校時代にリーダー研修会を行ってきた中学生が、高校生・大学生の支援のもと、中心となって企画とコース設定、訪問先の地域の方を選定する過程を通して、中学生スタッフの活動を促進することができ、今年度は昨年度よりコースが一つ増え4つのコースと充実した。 (5) 中・高・大学生の参画 今年度から中学生スタッフの参画を促進することで、高校生、大学生のスタッフが支援する立場となった。若い世代が中心となることは、今後長期にわたる活動実践の弾みとなった。 【自己評価】 当初計画していた事業のねらいが十分に達成できた。 Fプロジェクト事業が充実したことにより、地域の様々な世代を対象とした事業構築がなされたことと、子供の活動が認知され、古館地区の多様な団体との交流が広がり、新たな地域活性化事業構築ができた。 中学生スタッフが中心となり活躍する機会が増え、新たな地域の担い手としての期待が高まることとなった。また、次年度以降の活動を見通しをもって進めることができた。